

## 言者ムハンマド（2/12）：生から成人まで

:

明:この 事の 明: 示が下される以前の 言者の人生の概。

目:[事 言者ムハンマド彼の](#)

より: IslamReligion.com

ED6 Dec 2009

集日 21 Oct 2010

### 言者の生

西 570年、言者ムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）は、在のサウジアラビアの一都市であるマッカに 生しました。彼の父 アブドッラ はマッカの 者であるクサイイの曾々に当たり、クライシュ族のハ シム家に属していました。彼の母 ア ミナは、クサイイの兄弟の子 でした。アブドッラ はシリアとパレスチナからの 商の 途、マッカ北部のオアシスに住む 族の 中に病で倒れ、息子の 生数ヶ月前に亡くなりました。

生まれた子供を数年 砂漠のベドウィン部族のもとに送り、乳母の元で幼年期を ごさせることはクライシュ族の でした。それは健康的に有益であっただけでなく、 大な砂漠の中での自由の享受と、彼らのル ツを体 させる意味合いも含まれていました。言者ムハンマドはハリ マという女性の 育を受け、このベドウィン家族の元で4年（他の 承によると5年）を ごしました。彼は き始めて もなく、羊 いとして家畜の世 や砂漠での生き方を学び初めました。

彼が6 になって母 の元 に って来てから もなく、彼女はムハンマドの父 が亡くなったヤスリブ（ 在のマディ ナ）の街へと彼を れて行きました。しかし彼女自身もオアシスの 染病にかかってしまい、その 途で亡くなってしまいます。ムハンマドは彼の祖父であり

、ハ シム家の であったアブドル=ムッタリブの庇 を受けることになりました。そして  
彼が8 の にアブドル=ムッタリブも亡くなると、今度はハ シム家の新しい となったアブ  
タ リブが彼の庇 者となりました。 言者ムハンマドは羊 飼として暮らし、10 の には商人  
としての技巧を学ぶべく、叔父とともにシリアへと 商の旅に出ました。

彼は商人として き始め、やがて 判を得るようになりました。マッカの富裕 の中の一人  
として、二人の夫を亡くしている未亡人ハディ ジャが居ましたが、彼女は今やアル=  
アミ ン（正直者）として知られるようになったムハンマドの 判を耳にし、彼の人柄を  
んで彼女の商品をシリアへ ぶ 商の一 として雇用しました。そして彼の人格、そして能  
力に更なる感 を受けたハディ ジャは、彼に 婚を申し みました。当 ムハンマドは25 、ハ  
ディ ジャは40 でした。ハディ ジャはムハンマドに若い奴 のザイドを りました。ムハン  
マドは彼を解放しましたが、ザイドの 族が彼を引き取りに来た 、彼はムハンマドに す  
る深い敬 から彼の元に留まることを びました。ムハンマドはハディ ジャとの に6人の子  
をもうけ、その内唯一の男 だったカ スィムは2 になる前に夭折しました。

ムハンマドは尊敬された一 家となり、 大さと思 深さにおいて称 されてきました。彼の  
将来は 束されていたかのように えました。そのまま行けば彼によって部族の繁 は再 立  
され、彼はマッカにおける影 力のある 老のひとりとなり、恐らくは彼の祖父がそうで  
あったように、カアバ神殿の で横たわり、 い世俗的人生の思い出に浸りながら人生を  
えたことでしょう。しかし彼の魂は たされず、中年期に差し かるとその惑いはさらに  
していったのです。

## フナファ （ った信仰を避け、 正な宗教を奉じる者たち）

マッカの住人たちはアブラハムの息子イシュマエルの子 であり、彼らのカアバ神殿は  
唯一神の崇 のため、アブラハムによって建てられたのであると主 していました。そこ  
は神殿と呼ばれてはいましたが、崇 の主な 象はその内部に められた数々の偶像や、彼  
らがり成してくれると信じていた神々の 刻 彼らはそれらを神の娘たちと なしてしま  
た に取って代わられてしまったのです。この何世 にも渡って いた偶像崇 を拒否した一  
部の人々は、アブラハムの宗教の再来を望んでいました。このような真 の追求者はフ

ナファ（本来は偶像崇を“拒否する者たち”という意味）として知られており、彼らは集を形成することはありませんでしたが、 々人の持つ内面的意の光によって真を求めていました。アブドッラ の息子ムハンマドも、そうした者たちの内の一人だったのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/182>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。